

ブナセンターだより 8月号

発行：ブナセンター No.314 2019, 8, 1

今月のごあんない

森林ウォーキング③

黒松内の様々な環境の森を散策して、歩く前と後に血圧などを測定し、森の効果を調査するプロジェクトの3回目です。黒松内の「森の力」を感じながら健康について考えてみましょう！

【日 程】8月17日(土)

時間、場所など
詳しくはチラシで
お知らせします



森の恵みで
健康づくり

主催：森林療法実践プロジェクト(事務局ブナセンター)

森へ行こう「リバー・ウォッチング」

川の中を歩きながら、川沿いの森と川の「生きもの」を観察します。黒松内の川の環境を知るとともに、普段とは違う視点で森を見てみましょう。

【日 程】8月18日(日)

【時 間】10:00~12:00

【場 所】歌才川

【集合場所】歌オブナ林駐車公園

【持ち物】濡れてもよい服装、長靴もしくは濡れてもよい靴、着替え、替えの靴、タオル、飲物

【参加費】300円 ※「ブナさぼ」のメンバーは無料

【申込み】前日17:00までにブナセンターへ

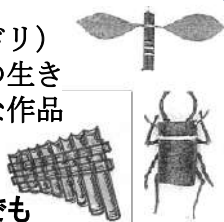
◎雨天、川の増水の場合は別プログラムに変更します

ブナセンターの夏休み

* 7月31日から8月18日まで休まず開館します *

夏休みの工作は木工房で！

ブナの枝やドンガイ(オオイタドリ)など、自然の素材を使って、森の生き物や音が鳴る楽器など、すてきな作品を作ってみませんか？



時 間：ブナセンター開館中はいつでも
(最終受付：16:00)

利用料：2時間以内で大人210円、小学生100円

材料費：枝やドンガイなどは無料ですが、有料の材料もあります(50円~500円程度)

※機械(電動糸のこ等)使用料は別途かかります

貸し出します！

夏の定番！朱太川・せせらぎ公園などでの川遊びや、添別川での貝化石とりに活躍する道具を貸し出しています。

無料のもの：箱めがね、網、バケツ、
貝化石とりの道具各種

有料のもの：釣竿(50円)
見釣り用のミニ竿(50円)



夏休み中、こんなこともやってます！

◆貝化石のクリーニング

添別川で貝化石を採ってきたら、きれいにクリーニングして名前を調べて標本にしたり、木工房で木の板に飾ることもできます(クリーニングは無料、木工房は利用料と材料費がかかります)。

◆森林公園「はっぱのウォークラリー」

ブナセンターに隣接する森林公園を一周して、いろいろな木の葉を観察するウォークラリー。どなたでも挑戦できます。

◆ブナ材の手回しオルガン

夏休み期間中は、毎日15:30から20分程度、ミニ演奏会をやっています。自分で演奏もできます。

◆朱太川の生きもの展示

朱太川・せせらぎ公園でみつかる魚やエビを水槽で展示。週に一度「えさやりタイム」もあります。

◆自由研究おたすけ隊(町内小中学生対象)

夏休みの自由研究をお手伝いします。3人までの申込制。詳しくは学校配布のチラシで。

工房からのお知らせ

陶芸教室

毎週木曜日 13:30~15:30
18:30~20:30

下澤陽子先生の教室は8月はお休みです

※ブナセンタースタッフが指導します。初めて教室に参加される方は、前日までにご連絡ください。

木工教室

毎週木曜日 18:30~20:30

西馬昇一郎先生(ニセコ町 WEST HORSE)の8月の教室

8月22日 & 29日 18:30~20:30

※自分の作りたいものを、設計図の描き方から道具の使い方まで丁寧に指導していただきます。

◎8月8日 & 15日の夜間の教室はお休みします

特集

夜鳴く鳥

ブナセンターには、町内外から黒松内の自然に関する問い合わせが各種寄せられます。なかでも町内の皆さんからの質問で一番多いのが「夜鳴いている鳥がいるんですけど、なんという鳥ですか？」です。黒松内で「夜鳴く鳥」の代表は以下の5種です。あなたが気になっている鳴き声はどれ？

トラツグミ

口笛のような、か細く高い声でヒー、ヒョーと鳴く。夜間、早朝、薄暮時、曇天の時に鳴き、繁殖初期には夜通し鳴くことも。日本では古くから『鶴(めえ)』という怪物の声と考えられてきた。

体長：30cm



フクロウ

ホー、ホッホーと低い太い声で間をおいて繰り返し鳴くほか、ゴウツ、ゴウツやギャーツ、または犬のほえ声に似たワンワンなど、さまざまな声で鳴く。

体長：50cm



ヨタカ 体長：29cm



繁殖期の夜間、キョキョキョキョキョ...と連続して長く鳴く。かつては夜の森で容易に声を聞くことができたが、近年全道的に減少傾向が著しい。

エゾセンニュウ

繁殖期、夕方から早朝にかけて、大きな声でチョッピン、チャカチャカ！あるいはトッピン、カケタカ！と鳴く。北海道では「ジョッピン(鍵)かけたか？」と聞きなす人が多い。さえずりが似ていることから「エゾホトギス」の別名も。ホトギスはトッキョ、キョキヤキョクと、テンポが速い。

ヤナギの林やオオイトリの茂みに潜み、姿はなかなか見せない。

体長：18cm



オオジシギ

繁殖期、飛びながらジジ、ジジ、ズビヤーク、ズビヤークと鳴き、ゴゴゴゴ...という羽音とともに急降下する「ディスプレイ・フライト」を行う。「ディスプレイ・フライト」は、昼夜問わず、営巣地である草地や河川敷の上空で見られ、体長：30cm。早朝、薄暮時、曇天(ジリ)のことが多い。



イラスト：鳥630図鑑(日本鳥類保護連盟)より

日本の「夜鳴く鳥」の代表はフクロウ類、トラツグミ、ヨタカといわれています。これらは黒松内の森に普通にいますが、町内の方からの問い合わせが多いのはエゾセンニュウ、次いでオオジシギです。エゾセンニュウは、市街地でもよく鳴いていて(町民センター裏、温泉周辺、駅裏など)、鳴き声がとても大きいので、皆さん気になるようですね。

5種のうち、1年中いる「留鳥」はフクロウのみ。他の鳥は、春に渡ってきて繁殖し、秋にはいなくなる「夏鳥」で、5月から6月にかけて一番よく鳴いています(エゾセンニュウとヨタカは8月上旬頃まで鳴いていることも)。

ほかにも気になる鳥の鳴き声があったら、いつでもお気軽にブナセンターにお問い合わせください。

公募・写真展のお知らせ

あなたが撮った

黒松内の「鳥」または「動物」をお寄せください！

テーマ1 黒松内の野鳥

テーマ2 黒松内の動物(哺乳類)

どちらも原則として過去10年以内に黒松内で撮影した写真で、種名(種名が分からなくても特徴がきちんと写っていればOK)、撮影した場所、年月日がわかっているもの。野生の鳥、動物に限り、ペットや餌付けしたものは除きます。

- ◆作品：1人20点までデータで受付ます(JPEG形式で5MB以内)
※2L版の大きさで展示します
※ブナセンターの展示や出版物に使用しても構わない作品
 - ◆参加対象：どなたでも
 - ◆締切り：8月31日
 - ◆応募方法：データをブナセンターにお持ちください ※メールでの送付も可
 - ◆写真展：10月にブナホールにて開催予定
- ◎詳しくはチラシにて。またはブナセンターまでお問い合わせください

【8月の休館日】

19・20日 / 26・27日

夏休み期間(7月31日～8月18日)は休まず開館
(ブナセンターは通常毎週月曜日と火曜日が休館日です)

- 「ブナセンターだより」はブナセンターHPからPDFファイルをダウンロードできます。
- 「ブナセンターだより」郵送ご希望のかたは、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、希望回数分の82円切手を同封してブナセンターまでお送りください。

発行所：黒松内町ブナセンター

〒048-0101 寿都郡黒松内町字黒松内 512-1 TEL (0136)72-4411 FAX (0136)72-4440
電子メール bunacent@host.or.jp ホームページ <http://www.host.or.jp/user/bunacent/>